

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学校名	海津市立平田中学校		
実施期間	○平成26年10月18日(土) ○平成26年10月26日(日) ○平成26年11月7日(金)		
実施概要	○平成26年10月18日(土) 第18回ふれ愛ステーション<合唱発表会>において学校関係者・保護者・地域の方々に向けて、今まで学級の仲間と築いてきた絆や団結力を、各学級・学年の合唱として発表した。また、全体合唱の「ふるさと」を会場全員で歌い、交流を図った。 ○ふれ愛ステーション終了後、第2回学校評議員会を実施し、感想や日頃の地域での生徒の様子などのご意見を伺った。 ○平成26年10月26日(日) 1年生を中心とした生徒が、平田校区運動会の運営ボランティアとして参加した。 ○平成26年11月7日(金) ふれ愛授業参観として、午前中の授業をフリー参観、午後5時間目を1、2年生は特別授業公開を実施。その後学級懇談会を実施した。 ○同日午前中に、第3回家庭教育学級として、海津市学校給食センターと給食用のパンを納品している製パン会社の見学と給食試食会を実施した。		
実施内容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来校者数	保護者	234人	計 277人
	地域関係者	43人	
実施状況	○平成26年10月18日(土) 「平田中学校 第18回ふれ愛ステーション」 ・本校が大切にしている「平中文化」の5本柱の1つの、「4H合唱(4H:響き、迫力ハーモニー、ハート)」を通して、学級の仲間と絆を深める取組を行った。最高の「4H合唱賞」獲得を目指す過程での学級内の紆余曲折を語り、到達した現時点の姿を合唱として学校関係者、保護者、地域の方々へ披露した。また、特別支援学級の生徒達は日頃より練習しているハンドベルの発表をした。一人複数本のベルを担当し、きれいな曲を奏で、会場を魅了した。今年度は、平田町在住で平田中学校(前身の今尾中学校卒業)の先輩にあたるソプラノ歌手を招聘し、プロの演奏を聴く場を設定した。会の最後には、保護者や地域の方々も一緒に「ふるさと」を合唱し、会場が一体となる感覚を味わうと同時に、地域とのつながりを確認し地域の一員としての自覚を高めることができた。 ○平成26年10月18日(土) 「学校評議員会」 ・同日に行われた「ふれ愛ステーション」も参観いただき、その感想も含めて、日頃の生徒の様子や学校へのご意見を伺った。地域の取組では、地区の行事のボランティアとしての活躍を高く評価いただいた。 ○26年10月26日(日) 「平田校区運動会」 ・運動会の放送、招集、出発、景品配りやバザー品の調理など、担当の地域の方々にサポートして運動会運営に取り組んだ。自らも競技に参加するなど、地域の方々との交流をした。 ○26年11月7日(金) 「ふれ愛授業参観」「第3回家庭教育学級」 ・1日中どなたでもどの時間帯でも授業を参観していただけるように終日授業を公開し		

	<p>た。また、1・2年生は5時限目を重点公開として位置づけ、その後学年、学級懇談会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同日に第3回の家庭教育学級として、海津市学校給食センターと給食用パン納品製パン会社を見学し、給食についての理解や、地産地消など地域との結びつきについて研修を行った。
<p>成果及び課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「ふれ愛ステーション」は、生徒の頑張りが感動をもって感じられる伝統の行事として定着しており、多くの保護者や地域の方々に参加していただくことができた。以前だと、聴く側のマナーについて反省点が出ることもあったが、今では演奏する側、聴く側共に会を創り上げようという意識になりつつある。 ○地域の方々からご意見・ご感想等を積極的に聴取し、今後の学校の教育活動の在り方について参考とした。 ○一昨年より昨年、昨年より今年と「合唱」や「学校・生徒の姿」に対する保護者や地域の方々の評価が高くなっている。また、生徒の姿の高まりを地域に広めていただいている。地域が生徒の頑張りを喜んでいるという事実を生徒に返すことで、更に生徒の向上心へとつなげることができている。 ○家庭教育学級で給食試食と給食ができる場面や生徒の給食活動を参観してもらった。一連の活動で給食の様子がよく分かり、生徒と同じものを食べたことで給食に関わった親子の会話を生み出すことができた。 ▲「ふれ愛ステーション」が、単に学校独自の行事ではなく、学校と地域を結ぶ行事となるように、生徒会活動を中心に様々な地域の方にも広めていけるよう改善を図っていく。 ▲授業参観を計画しても、平日で行事の間隔が短いと仕事の休みが取れないなどの理由から参加者が非常に少ないのが現状である。行事も精選して、PTA活動と学校行事をうまく組み合わせ、1日で様々な活動を並行して行っていく工夫が必要だと感じた。 ▲地域の方が参観する形の活動が多くなっているのが現状である。今後は、地域人材を活用しながら、学校行事への参画・参加型の行事を企画して、地域の方から地域のことについて学ぶ機会を設けたい。